

## 月例情報市場報告

ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク

2020年11月18日(水)、月例情報市場を開催しました!

参加いただいた皆様、ありがとうございました。次回は今年最後の12/16(水)ふれあい福祉センターで開催いたします。なかなか人と直接会いにくくなっていますが、マスク着用で換気・除菌をして、月一度の情報市場にご参加下さい。



今回ご参加いただいた方々です。

- 新光電気工業他 曲渕さん
- 大和ハウス工業(株) 竹花さん
- 長野市ボランティアセンター 仁科さん
- 精神保健福祉ボラ ホワイトナッツ 本田さん
- 精神保健福祉ボラ ホワイトナッツ 松澤さん
- きずな村実行委員会 小宮山さん

**司会**は込山会長です。

**曲淵さん** 勤務先は新光電気でライフワークは社会福祉士です。

**小宮山さん** 生活困窮の方々を支援しているきずな村実行委員会の事務局です。今日はこちらのチラシにございます、12月19日きずな村とって毎年生活困窮の方を支援する催しです。今年はコロナの関係で生活用品のバザーが出来ない中で、食料品の支援と生活相談しかできない状況です。チラシには書いてありませんが、今までみなさんにお渡しするのに紙袋に入れていたのですが、どうしても重くて破れてしまうということと経費の関係で、不織布の袋がありましたら提供いただきたいと思います。企業名が入っていても大きさ等も構いませんので頂けたら助かります。

**竹花さん** 何もわかっていなくて参加していますが、何かボランティアすることがあればさせていただきます。職場では今までにびんずる祭りが終わった後の清掃ですとか灯明まつりのお手伝いをさせていただきました。

**本田さん** 今日はブロックボランティアの研修会をオンラインでやっていて、16:00になったので中座してきました。水曜日にティーサロンを開いているのは情報市場に合わせているからです。情報市場で情報が欲しいので。

**仁科さん** 人と人とをつないでいきたいなと思っています。  
12月13日ボランティアのつどいを行います。ご参加下さい。

**事務局** 物品情報です。ボランティアセンターから新しいグループが立ち上がるについて、ミシンが欲しいということでした。提供可能な方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡をお願いいたします。

# 北信

長野市のボランティアやNPOなどによる情報交換の場として月1回、市ふれあい福祉センターで開いている「月例情報市場」が24日、200回の節目を迎えた。市民や企業、団体でつくる「ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク」が続けている。同センターでこの日、記念イベントがあり、関係者が取り組みの意義や展望を語り合った。

## 「月例情報市場」200回



「月例情報市場」の開催200回を記念して開いたパネル討論

### 長野のNPOなど ノウハウ交換の場

月例情報市場は2003年に始まり、毎月第3水曜日に開いている。ボランティアやNPOなどが、地域活動や社会課題解決に取り組む上での悩みや問題を挙げ、必要な物資やノウハウを交換する場になっている。

記念イベントでは、情報市場の利用者らがパネル討論。県地域生活定着支援センター（長野市）の大鷲智子さんは、刑務所を出所して県内で暮らす高齢者や障害者を支援していると説明。「情報市場で相談したところ、協力団体に会うことができた。彼らが就労し生活するための基盤が整った」と振り返った。

支援ネットワーク会長の込山哲也さん（64）は「参加人数が少なくても継続し、悩みや言いたいことを言える場をつくってきたい」と強調。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で会場などの制約があるとしつつ「出会いを大切に今後も続けていきたい」と述べた。

10月24日の200回記念拡大版月例情報市場の記事を信毎新聞に載せていただきました。

以上

# 年末年始 ふれあい 助けあい きずな村



## 12月19日(土)

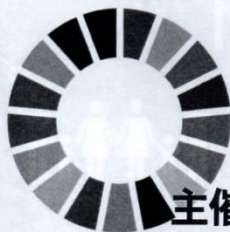
午前10時～12時

JA長野県ビル広場&中部公民館第5分館

◇◇◇ どうぞお越しください ◇◇◇

- 米、缶詰など食料品（お一人1袋）をお渡しします。
- 「無料」なんでも相談会を、中部公民館第5分館で行います。  
相談のある方は11時30分までにお越し下さい。
- 感染対策のため、食事提供と日用品市はありません。

- ★ 風邪症状がある場合は、来場をご遠慮下さい。  
マスクの着用をお願いします。



あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

SDG's ターゲット1.2

貧困状態にある人の割合を半減させる。

主催：第11回きずな村実行委員会

1 貧困をなくそう



### ◆ お問い合わせ

事務局連絡先 反貧困ネット長野（小野）

直通：070-6988-2771（月～金 9：00～17：00）

長野医療生活協同組合 TEL：026-234-1476 FAX：026-234-1493

# 年末年始 ふれあい たいけあい きずな村



## 12月19日(土)

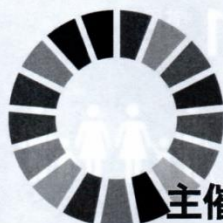
午前10時～12時

JA 長野県ビル広場&中部公民館第5分館

◇ ◇ ◇ 支援物資の寄付を受け付けております ◇ ◇ ◇

- ・事前にお電話の上、長野中央病院正面「東館」まで、ご持参いただきますようお願いいたします。
- ・物資の集約期間 (12月1日(火)～16日(休) 平日午前10時～午後4時)
- ・なお、下記(米、食品)以外のものは受け取ることができませんので予めご了承ください。

- お米 2019年及び2020年収穫のもの(粳、玄米、精米)
- 食品(消費・賞味期限が2021年2月以降のもの)  
缶詰・未開封のインスタント及びレトルト食品・乾麺



### SDG's ターゲット 12.3

世界全体の一人当たりの食料廃棄を半減させ、生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減らす。

主催：第11回きずな村実行委員会

1 貧困をなくそう



#### ◆ お問い合わせ

事務局連絡先 反貧困ネット長野(小野)  
直通：070-6988-2771(月～金 9:00～17:00)  
長野医療生活協同組合 TEL：026-234-1476 FAX：026-234-1493



ボランティア活動市民会議  
×  
長野市域災害時支援ネットワーク交流会

**今 長野で災害がおきたら  
何ができる? 誰とつながる?**

～集まれば大きな力、強みを活かそう!～

12月13日(日)

13:30～16:30

長野市芸術館 1階

参加費  
無料

令和元年台風19号災害から1年が経過しました。

昨年私たち長野市内で活動するボランティアは、「何  
ができて何ができなかったのか?」「誰とつながれたの  
か?」「多くの市民の力を集めることができたのか?」。  
誰もが初めての経験に悩み、考え、動いてきました。そ  
の経験を復興と次の災害に向けて活かしたい。

そこで、今回の市民会議では、災害時のネットワー  
クがあることの意味を参加者全員で考えてみたいと思  
います。また、平時は災害と無縁の活動をしている団体  
にもそれぞれ強みがあります。ボランティアだけでなく、  
多様な団体が一堂に会し、いざというときにその強  
みを互いに生かし合うため、顔の見える関係づくりを  
しましょう。

**第一部 講演会(オンライン)**

「災害時の官民を超えたネットワークの意味」  
講師 石原達也さん

(NPO法人岡山NPOセンター)

★第一部のみの参加が可能です(詳細は裏面参照)

**第二部 交流会(ワークショップ)**

ファシリテーター 内山二郎さん

(公益財団法人長野県長寿社会開発センター理事長)

対象 ボランティアグループ・NPO・企業  
住民自治協議会・組合・業界団体・行政など  
(同団体から1名限定) 50団体

定員 50人

■問い合わせ■

長野市ボランティア連絡協議会

e-mail: vrennagnao2017@gmail.com

■申込み■

FAX: -026-223-0052 (裏面申込書にて)

申込みフォームより→<https://forms.gle/vYWHvXU5o7qKF4L99>



主催: 長野市ボランティア連絡協議会

共催: 長野市災害ボランティア委員会

協力: 長野県災害時支援ネットワーク

長野市市民協働サポートセンター

## オンライン講演会

# 「災害時の官民を超えたネットワークの意味」

12月13日（日）

13:30～14:30

定員 50人

参加費 無料

フォームから→  
お申し込みください



昨年の台風19号災害時、長野市内外から多くのボランティアNPOが被災地に駆けつけました。多くの団体が一齐にやってくることで現場では少なからず混乱もあったのではないのでしょうか？ 日頃からさまざまな団体が顔の見える関係をつくり、互いに調整し合いながら支援活動するための情報共有の場が必要とされ、各地でネットワークづくりが始まっています。

2018年、西日本豪雨災害で被災した岡山県で、発災直後から情報共有会議を実施、ネットワークの立ち上げに奔走したNPO法人岡山NPOセンター代表理事石原達也さんから、災害時の官民を超えたネットワークの意味について、メリットだけでなく課題も含めてお話しいただきます。

### ■講師・石原達也さんプロフィール■

1977年6月5日 岡山県岡山市生まれ。

NPO法人岡山NPOセンター代表理事・災害支援ネットワークおかやま世話人・NPO法人みんなの集落研究所代表執行役・PS 瀬戸内株式会社代表取締役社長・NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会理事 他  
2001年、大学生のみのNPO法人設立に参画したことからNPO業界に。活動が続ける中で支援者を志すようになり2003年鳥取市社会福祉協議会に入職。ボランティアコーディネーターを務めた後に転職し、出身地・岡山でNPO法人岡山NPOセンター事務局長に就任（現在、代表理事）。



FAX : 223-0052

## ボランティア活動市民会議×長野市域災害時支援ネットワーク交流会 申込み

氏名	連絡先	参加形態(どちらかに○)
		前半のみ参加(オンライン) すべて参加(長野市芸術館)
		前半のみ参加(オンライン) すべて参加(長野市芸術館)
		前半のみ参加(オンライン) すべて参加(長野市芸術館)

★長野市芸術館での参加は1団体1名限定となります。ご了承ください。

申し込み代表者氏名

団体名

メールアドレス